

平成29年度
赤穂市立赤穂中学校
「学校だより」

荒神台

NO. 45
平成30年3月23日発行
文責 校長(平井正彦)

成長に応じた支援を

中学校3年間での子供の成長は飛躍的で、「子供」から「大人」へと大きく変化します。全国の平均身長では、3年間で男子は20cm、女子は10cmそれぞれ増加します。

心の成長は、思春期と重なるため、さらに急激で、ものの見方や考え方が「大人」になっていきます。いろいろな経験を積み、人間関係の難しさを知り、学んだ知識を基にして、自分の考えを深め、視野を広げていきます。

また、自分を自分で見つめる時期に入ると、自分の欠点ばかりが気になり、過剰に劣等感を持ったり、他の人がみんな自分よりよく見えたりします。そして、大人の言動を批判的に受け止め、反発しながら、成長し自立していきます。『自立』～他からの援助や支配を受けず、自分で判断し、自分で決めて、自分で責任を取る。大人として、社会人として独り立ちすること。



このように大きく成長する子供に、周囲の大人がいつまでも同じように接している

と、子供の成長には逆効果です。

家族での会話で、いつまでも子供を「〇〇ちゃん」と呼んでいると、子供も自分のことをそう呼んだり、「私は、・・・」と言わずに「〇〇は、・・・」と話し始める癖が直らなかつたりします。子供の成長に合わせて、会話での言葉づかいを「大人モード」に切り替えることも必要

です。親から見れば、子供は何歳になっても子供ですが、社会からは大人として見られているのです。

私たち大人の大切な役割は、子供の自立を支援するために、良いものを見せ、触れさせ、方向を示してやることです。

中学生は、あれこれと悩んだり、迷ったりしながら、自分の道を自分でさがし、歩んでいきます。彼らに、自分で選んだことに対して責任を持たせ、任せることが必要であり、「大人扱い」すればするほど、彼らは大人に近づきます。

次のような言葉があります。

- 乳児は、肌を離すな
- 幼児は、肌を離せ 手を離すな
- 少年は、手を離せ 眼を離すな
- 青年は、眼を離せ 心を離すな



青年期には、親から完全に自立していくために、自分なりの生きがいや進路を見つけようとし、迷い、挫折し、新たな希望を抱いていく時期です。この時期に、親の考えや価値観を押しつけたり、世話を焼いたりすることは、子供の自立には適切ではありません。

子供自身が人生を選び、進む道を見つけ、人格を完成させることが大切です。親は、自立しようとしている子供の気持ちを支え、いつでも頼ることができるという「安心感」を子供に与えてやってください。

キャリア学習会 2/27

■赤穂ライオンズクラブの会員による座談会<赤穂中学校体育館>



■平成28年度に引き続き、今年度も赤穂ライオンズクラブの会員の方にご協力いただき、自分の仕事、職業、仕事への思い入れややりがいなどについて、語っていただきました。

【講師の方】<敬称略>

- 児島正幸 (コジマヤ) 会長
- 春本新二 (鹿久居荘)
- 寒川真吾 (47リカーズ)
- 矢野秀樹 (矢野防水工業)
- 秋田崇志 (あきた歯科)

【生徒からの主な質問】

■今の職業をめざした時期、今の職業で良かったこと、大切にしていること、やりがい、その職業を選んだ理由、やめたいと思ったこと、接客時に気を付けていること、・・・など。

キャリア教育・・・?

- ◆キャリア学習会「座談会」
- ◆1・2年生 学年別「親子進路学習会」

今の子供たちは、なぜ勉強しなくてはいけないのか、なぜ集団活動や係活動をしなくてはいけないのかなど、基本的なところで迷い、目的を見失っています。また、「将来のために」とは答えますが、自分のどんな将来をイメージしての事なのか、はっきりしていません。

目的意識がはっきりしないために、勉強や活動への意欲が高まりません。また、大人から説明を受けただけでは、「自分の将来の姿」や「職業の選択」「生きがい」などを具体的に考えることは難しいものです。

そこで、さまざまな情報や体験、学習、係活動を積み重ねて、自分の将来を具体的に組み立てていく「材料」「資源」を蓄えます。そして、それを使って、自分らしく、自分が生きがいを

感じるような「人生の設計図」を作り上げ、それを実現させるという「目的意識」を持って、学校生活や家庭生活を過ごすことをめざしています。学校での学習や体験と将来の目標とを結びつける教育と言ってもいいでしょう。

1年生の早い時期から、将来を具体的に組み立てていく「材料」となる進路・進学情報の学習会を開催しているのは、そのためです。

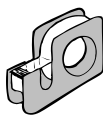
また、座談会を開催し、さまざまな職業や仕事をする人の思いや体験談、アドバイスを聞くのも、自分の将来を組み立てる大切な「材料」になるのです。

今後、自分の将来の目標に合わせて、「行きたい高校」を選び、その高校に合格するという目的意識を持って、積極的に学習する生徒たちにしたいと考えています。



■進路学習会へのご出席、ありがとうございました。

ヘルス・ロードは、あいさつ・ロード



私が本校へ着任した3年前の4月でした。毎朝、坂道を登校している生徒を車で追いかけていますが、ある朝、男子生徒2名が、いつものように追い抜こうとしている私の車に向かって、立ち止まり、深々と礼をしてくれました。思わず、私は自分も頭を下げ、よくわかるように左手を挙げて、「あいさつ」を返したのです。

なんと気持ちがいい、さわやかな一日の始まりでしょうか。私は生徒集会「校長講話」の中で紹介し、坂道を「あいさつ」あふれる特別な坂道にしようと話しました。



赤穂中学校の坂道は、一般道路と違い、先生か、保護者か、学校関係者しか通行しません。また、相手に礼をするときは、きちんと立ち止まり、相手を見て礼をするのが、マナーでもあります。人を大切に思う行動は、「あいさつ」から始まります。

やがて、一人増え、二人増え、今では、多くの生徒が、立ち止まって礼をしてくれます。

本校を訪れる学校関係者の方は、生徒の「あいさつ」に驚き、感心し、そのことを私に話してくれます。私はその都度、「あのあいさつは、生徒たちが始めて、生徒たちが広げていった赤穂中学校の伝統です。数名の生徒会役員たちの「気づき」を後輩が大切に引き継ぎ、赤穂中学

校の文化として定着させてくれています。」と応えます。

赤穂中学校のヘルス・ロードは体だけでなく、心の健康にも大切な役割を果たしています。



公立高校 学力検査(一般入試) 合格者数

学校名	学科	男	女	計
赤穂高校	普通	15	21	36
〃(定)	普通	1	1	2
相生高校	普通	3	4	7
龍野高校	普通	4	2	6
相生産業	電気	1	0	1
〃	機械	1	0	1
〃	商業	0	2	2
〃(定)	機械	3	0	3
上郡高校	普通	0	3	3
〃	農業	0	0	0
〃	園芸	0	0	0
〃	農土	2	0	2
佐用高校	普通	2	1	3
〃	農科	2	2	4
〃	家政	0	2	2
姫路南高校	普通	0	3	3
姫路東高校	単位普通	1	0	1
市姫路高校	普通	0	1	1
網干高校	通信制	0	1	1
	計	35	43	78

書道 表彰と記録

J A 共済全国小中学生書道コンクール 2/2

<条幅の部>佳作 宮本 佳穂 (2-3)

読売紙上書道展 2/25

3席 宮本 佳穂 (2-3)